

●馬込文士村●オススメ散策コース●

＜南コース＞

1	JR大森駅
2	大森倶楽部
3	八景坂
4	馬込文士村レリーフ
5	天祖神社
6	八景園跡
7	大森射の場跡
8	加納久宜子爵邸跡
9	大森ホテル跡
10	望翠楼ホテル跡
11	山伏高僧
12	弁天池と巖島神社
13	かつての新井宿村と馬込村の村境
14	南馬込文化センター
15	阿部別邸跡
16	石坂洋次郎
17	川端康成
18	衣巻省三
19	稲垣足穂
20	尾崎士郎
21	宇野千代
22	真船豊
23	佐藤朝山
24	大田区立郷土博物館
25	湯殿神社
26	馬込文士村商店会
27	第二京浜国道
28	都営地下鉄浅草線西馬込駅
29	馬込半白節成胡瓜・馬込大太三寸人參発祥の地碑

＜北コース＞

1	都営地下鉄浅草線西馬込駅
2	大田区立郷土博物館
3	小林古径
4	室生屋星
5	万福寺
6	山本周五郎
7	三好達治
8	今井達夫
9	添田さつき
10	北原白秋
11	大田区立山王草堂記念館
12	尾崎士郎
13	日夏秋之介
14	大田区立山王小学校
15	日枝神社
16	円能寺
17	大森貝塚碑
18	児島惟謙邸跡
19	大森貝塚碑
20	JR大森駅

大田区立郷土博物館発行
馬込文士村 散策の葉より抜粋



地域のホットニュース

大田区立郷土博物館発行の馬込文士村散策の葉からコースを2つご紹介いたします。この他にも「寄り道」として文士の解説板等もありますが、コースのチェックポイントは上記になり、所要時間は各1時間半〜3時間です。皆さんは、普段の散歩などでオススメの散策コースはありますか？ 散策途中で新しい発見はありませんか？、4面の応募用紙などでご紹介下さい。

平成18年5月

元氣堂だより

元氣のモト

題字は山王店
若杉 浩太郎

第132号

(株)元氣堂

読売センター馬込
大田区南馬込5-7-12

TEL 3771-4497

読売センター山王
大田区中央1-1-1

TEL 3772-5332

毎月15日発行

地域の元氣のモト

先月号より馬込文士村の文士たちの連載を始めております。参考にした「馬込散策マップ」では南北の2コースを紹介しておりますが、今回は私のオススメコースをご紹介します。最初に①「大森駅」からスタート→駅の向かい天祖神社の階段下にある②「馬込文士村レリーフ」→公園を登り左折、くらやみ坂を横切ると右手に③「大森ホテル跡」→細いくねくねした道を下る④「弁天池」(室伏高僧)→環状七号線→小学校を左に見ながら右の道へ→突き当たりを左折→もう一度突き当たりを左折→信号を右折して⑤「白田坂」→左にあるそば屋さんを左折→突き当たり⑥「尾崎士郎・宇野千代」→今来た道に戻り白田坂を右折→白田坂を五分→左手に⑦「二十メートルほど入る」⑧「川端康成・石坂洋次郎」→あとは池上通り→左折し⑨「大森駅」。時間になると、一時間半くらいでした。

今回散策をしてみても勉強になりました。「弁天池」は昔湧き水で、飲み水としても使われていたそう。この近くを仕事場にしていたのは元読売新聞の記者で小説家の室伏高僧。「原稿かきはロソク灯に限る」との話。どういう意味？答えは解説版にありました。この周辺に住んでいた文士たちも、この池を眺めていたのでしょうか。感慨無量。「尾崎士郎・宇野千代」この2人がこの土地に住み文学・芸術仲間を誘い文士たちの交流が盛んになった。ゆえにこの尾崎・宇野家には馬込放送局なる呼び名がついたという。

このように馬込散策には新しい発見があります。皆様の「オススメコース」や「新しい発見」をご紹介下さい。便りお待ちしております。

集

特

馬込の文士たちまつわる話&
馬込文士村散策スポット

皆さんから寄せられた

お便りををご紹介します。

☆馬込の文士にまつわる話☆など

●室生犀星さんが、うちの前を帽子にマント、ステッキを持って散歩していた姿を思い出します。思わず、挨拶をしてしまいました。昨年、金沢の彼の生家、記念館を訪ねました。72才で亡くなるまで馬込にいらしたことを誇りに思います。(南馬込 Y様)
●萬福寺に室生犀星の句碑があります。この辺りを散歩する姿がありました。

(南馬込 S様)

●昭和27年頃ですが、室生犀星先生が杖をつけて着物姿で帽子をかぶり、散歩されている姿を時々見かけた思い出があります。馬込八幡神社の辺りでした。

(南馬込 N様)

●馬込第三小学校の校歌を作詞したのは、室生犀星です。(北馬込 A様)

(北馬込 A様)

●父や母が大正の末期から今の所に住んでいた、宇野千代達のダンスパーティーへ行った事があったようです。(山王 I様)

(山王 I様)

●私が馬込に転居したのは11才の頃でした。もう60数年も前の昔のことです。同じ棟に間借りしていたのは独身の画家でした。

そう、30才位でよく庭で朝顔や百合など花々を写生していたのを憶えています。成る程、文士や画家が多かったんですね。当時は富士山もくっきり見えて良きころでした。

(南馬込 F様)

●三島由紀夫の家の近くに住んでいます。隣りのおばあさんは、生前、下駄履きで散歩する姿をよく見かけたそうです。

(南馬込 W様)

●三島由紀夫邸をさがし求め、何度も通行人に聞いても見つからず途方にくれていた時に、ふと案内してくれたおばあさんの笑顔は有難かった。起伏のある丘から眺める空は実に美しく澄んでいた。

(仲池上 N様)

●ずっと以前に宇野千代さんのテレビドラマで「文士村」が登場し、いつか散歩を試みたいと思いつつ、実行できません。

(南馬込 K様)

●川端康成の雪国が印象に残りますが、ゆかりの地に住んでいられるのが素晴らしいと感じています。まつわる話は是非何かに発表して下さい。(南馬込 M様)

(南馬込 M様)

☆馬込文士村散策スポット☆など

●お友達に住所を聞かれ、馬込文士村に近いわねと羨ましがられる。川端龍子会館でゆったり名画を楽しみ、側に他の桜より2〜3週間早く咲く桜があり、2度美しい

お花見を楽しむ事が出来る。(山王 S様)
●文士の人達のエピソードの案内を見るのが好きであったので、公園などにあるのは、一度読んでまた読んで他の発見をしたり、資料館に行つて深く追求するのが小さい頃は好きで、よく親と散歩(お出掛の際)の時はお勉強しました。今は季節の花を眺めがてらなんて…大人になったな自分つて…(南馬込 A様)

(南馬込 A様)

●子どもが小学校の時の授業で、文士の解説板をまわるのに付き添いました。その時に文士の多さに驚きました。各地に「文士村」はありますが、地元の「馬込文士村」が一番ですね。(山王 H様)

(山王 H様)

●小学生の頃に学芸会で馬込文士村の劇をしました。実際に劇をやってみて、奥が深いなと感じました。連載楽しみにしています！(山王 H様)

(山王 H様)

●主人と赤ちゃん(11ヶ月)と3人で文士村散策をいつも楽しんでます。お気に入り場所はたくさんありますが、びっくりしたのは三島由紀夫の表札の掲げられた自宅でした。入ることは出来ませんが、少し感動しました。(南馬込 K様)

(南馬込 K様)

●室生犀星氏を実際に見かけた方が3人もいらして驚きました。散策スポットは馬込桜並木に葉が集まりました。来月号では、馬込文士村特集 皆さんのオススメ散策コースをご紹介します。お楽しみに！

